

東陽中だより

教育目標 ～明日を拓く～
・豊かな心 ・活きた知性 ・たくましい体
発行責任者 小野寺 憲治
文 責 佐々木 正道
発行日 平成30年3月23日

卒業式・修了式を終えて

東陽中学校長 小野寺憲治

先日、131名が学舎を巣立ちました。今年の卒業生は、互いを認め合い尊重し一人一人が生き生きと活動する集団で団結力を発揮しました。その卒業生が残したものは様々ありましたが、強く印象に残っていることに学校祭での舞台発表「劇団東陽 ライオンキング」があります。修学旅行初日に鑑賞したミュージカル「劇団四季・ライオンキング」でしたが、会場内のステージ、観客席の通路など全てを使い縦横無尽に繰り広げられる歌と踊り、臨場感溢れる迫力や素晴らしさ、さらに大道具・小道具、音響の精巧さなどに感動し胸が高鳴りました。その感動を自分たちの手で学校祭において、シンバやナラに扮した大勢のキャスト、そして音楽、衣装、照明や道具係などのスタッフとして、3学年全員が心一つに創りあげた「劇団東陽・ライオンキング」は観るものに夢と感動そして希望を与えてくれる出来栄でした。準備に当たった一人一人の活躍は立派で、こんな力があるのだと改めて子どもたちの可能性を見せつけられた気がします。劇団四季は当然ですが歌や踊りそのものに素晴らしさがありましたが、3学年が創りあげたライオンキングはそこに辿り着くまでの日々のドラマがあり、私の目には劇団四季を凌ぐものと映りました。鑑賞した1、2年生や保護者の方々そして地域の皆様が共有できた感動からその出来栄を高く評価いただきました。そこには、一人一人が輝き、生き生きと活動している姿から力強さや逞しさも感じられました。卒業生には、これからの人生を中学校生活で得た様々なものを糧に自分の進むべき道をしっかりと歩むことを祈念しています。1、2年生は、次は自分達の出番と意気込む様子が感じられ頼もしいです。卒業生が残してくれた伝統を引き継ぎ、更に高める責任があります。更なる東陽中学校の伝統づくりに邁進することを期待しています。

平成29年度の卒業式、修了式にあたり、それぞれに卒業、進級されますお子さまの未来が学校教育目標である「明日を拓く」ための確かな一日一日となるよう願ってやみません。

今年度、本校の教育に対しまして温かいご支援ご協力をいただきました保護者・地域の皆様には心から感謝と御礼を申し上げ結びと致します。

ありがとうございました。

安藤麻（東陽中卒業）選手 平昌オリンピック報告会



19日（月）
分刻みのスケ
ジュールの合
間を縫って来
校して頂き、
生徒達へ熱い
メッセージを
送っていただ
きました。

